

SBDL Winter Round 2026 入替戦

2026 第7回 前期埼玉県バスケットボール デベロップメントリーグ U14ウインターラウンド入替戦 実施要項

- 1 大会名称 大会呼称 ▶ SBDL ウインターラウンド2026入替戦
(英語表記 : SBDL Winter Round 2026)
正式名称 ▶ 2026 第7回 前期埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ
U14ウインターラウンド入替戦
(英語表記 : SBDL U14 Winter Round)
- 2 主 催 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
- 3 主 管 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 U15カテゴリー部会
- 4 目 的
 - (1) JBA登録チームに、一定の公式戦試合数を確保し長期的な育成を図る
 - (2) 拮抗した対戦を増やし、選手・指導者の成長を促す
 - (3) DNP (Do Not Player : 横欠選手) ゼロを目指し、すべての選手がバスケットボールの公式戦を楽しめる環境の構築
- 5 期 日 3月7日（土）
- 6 代表者会議
 - (1) 2月28日 20:00~21:00
 - (2) オンラインにて実施（詳細については、TEAMJBAメールで配信）
- 7 開催会場 狹山市民体育館 吹上コスモスアリーナ
- 8 大会方式
 - (1) U14リーグ終了後各リーグから条件に満たしたチームが参加
- 9 表 彰 なし
- 10 登録規定
 - (1) 2025年度において、都道府県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会U15カテゴリーに登録されたチームおよび競技者であること
 - (2) 選手・コーチはスポーツ安全保険に加入しなければならない
(スポーツ安全保険の加入を証明できる資料をリーグ戦運営委員に提出)
- 11 選手参加資格
 - (1) 選手の年齢は、**2011年(平成23年)4月2日から2015年(平成27年)4月1日までに生まれた者**
 - (2) **選手は、2025年12月10日までにJBAに登録（移籍・追加登録含む）されていること**
 - (3) 移籍については、所属都道府県協会へ移籍申請書を提出し、受理されていること
 - (4) U15クラブチーム登録した11歳以上の選手は、U15リーグに出場することができる（U12全国大会および予選大会には出場できない）
 - (5) 2013年（平成24年）4月2日から2015年（平成27年）4月1日に生まれた者を選手として大会エンターする場合は、1チームあたり2名まで（チーム所属2名まで）
 - (6) 外国籍選手（JBA基本規程に基づく）の大会エンターは1チームあたり2名まで
 - (7) 就学しているが年齢が上の者の場合（中学3年生だが16歳などの場合）は、本リーグ戦に参加することができる

※2026U14リーグに出場した選手のみが出場することができる。

12 指導者参加資格

- (1) コーチライセンス
 - A ベンチで指揮を執るコーチはJBA公認E級コーチ以上を保有していること
 - B ベンチで指揮を執るコーチは、試合前、テーブルオフィシャルズにてスコアシートにサインする際、必ずJBA公認コーチ登録証を提示すること
 - C 試合中はJBA公認コーチ登録証を首から下げること
- (2) 遵守事項
 - A **暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守**する
 - B 行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受理等が含まれる
 - C 特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応できないことがあること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。
- (3) チーム責任者
 - A 年齢が2025年4月1日時点で20歳以上の者で、チームを代表して対外的な窓口となり、参加にかかる手続き等ができること
 - B チームに帯同し、チームの最終責任者として活動できる者であること

13 大会エントリー資格

- (1) JBAに加盟しているチームおよび登録された競技者であること
- (2) 参加チームの所属選手でありJBA発行の競技者登録証を所持していること
- (3) 選手以外のエントリーは、スタッフ4名以内（コーチ、アシスタントコーチ、チーム責任者、マネージャー等）とする
- (4) チームが選手の安全管理上の理由でトレーナーのフロアでの活動を希望する場合、所定の「トレーナー登録申請書」を第1節に大会運営委員に提出する
- (5) インテグリティを尊守し、エントリー条件を満たしているチームが参加資格を有する
- (6) **会場、審判、コーチライセンスなどを準備できないチームは参加資格を失う**
※ 3部対4部の試合に関しては、帯同審判で実施します。（E級ライセンス以上）
必ず各チームご準備ください。

14 日程調整について

- (1) 没収
 - A 急な体調不良・災害・事故など正当な理由なく、予定されたゲームに現れなかつたり、ゲーム終了前にコートから立ち去つたりしたチームは没収による負けとなる。
 - B その他、競技規則に則る

15 リーグ戦成績の影響について

- (1) リージョナルリーグの成績
 - A 表彰をもって完結し、その後の競技会に直接的に影響を与えることはない
 - B チームが上位リーグへの所属を希望した場合、当該チームの成績は編成の参考資料とする
- (2) プリフェクチャーリーグの成績
 - A 2025 U15Autumn round（2025年9月開催）の成績は、
2026 U14Winter round（2026年1月開催）所属リーグ編成の参考資料となる
 - B 2026 U14Winter round（2026年1月開催）の成績、および入れ替え戦の成績は、2026 U15Autumn round（2025年9月開催）所属リーグ編成の参考資料となる
 - C 昇格・降格については、「21リーグ編成について」に記載の通り、成績は第5段階目の参考資料であることを前提とし、以下の通り確認する
 - a) 成績以前に降格の対象となる事案がある場合これを優先するため、昇格および降格については全てのチームが対象となる
 - b) 成績以外にリーグ編成にあたって参考資料がない場合、以下の通りとする
 - 1部の下位2チームは降格の対象となる
 - 2部の上位1チームは昇格の対象となる
 - 2部の下位2チームは降格の対象となる
 - 3部の上位1チームは昇格の対象となる
 - **3部の下位1チームは降格の対象となる**
 - **4部の上位1チームは昇格の対象となる**
 - D 所属リーグ編成は、「24所属リーグ編成について（1）」のとおり、全チームがリーグ戦エン

トリー終了後、U15カテゴリー部会によって決定される

よって、リーグ戦終了（順位決定）後に自動的にリーグ編成が決まることはない

E U14Autumn roundからU15Winter roundの間は、入れ替え戦を実施する

a) $\alpha \cdot \beta \cdot W \cdot X \cdot Y \cdot Z \cdot 0 \cdot P \cdot Q \cdot R$ はU15部会責任抽選で決定する

- 2部A 1位チーム vs 1部下位チーム 「 α 」
- 2部B 1位チーム vs 1部下位チーム 「 β 」
- 3部A 1位チーム vs 2部A下位チーム 「W」
- 3部B 1位チーム vs 2部A下位チーム 「X」
- 3部C 1位チーム vs 2部B下位チーム 「Y」
- 3部D 1位チーム vs 2部B下位チーム 「Z」

※ 以下のプールが自動入替

Prefecture(県) 3部 - 4部

Regional (地区) 1部 - 2部

Regional (地区) 2部 - 3部

Regional (地区) 3部 - 4部

入れ替え戦実施時期については、2025U14ウインターリーグ戦要綱にて展開する

F U15Autumn roundからU14Winter roundの間は、入れ替え戦を実施しない

(本要項22 (2) Cの通り編成を行う)

G U15選手権予選のシード枠とのつながり

a) U14Winter round終了後に実施される入替戦の成績を、U15選手権のシード枠権利に反映する。

b) ただし、あくまでも権利を有するのであって、決定ではない。リーグ戦編成時と同様の手順で、リーグ戦への参加状況やインテグリティなど、成績以外の面で「権利を反映させるに値しない」とU15マネジメント部会が判断する場合がある。

H 組み合わせ

+ 2026SBDL U14リーグ入替戦 別紙参照

16 競技規則等

(1) (公財)日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。

A JBAが提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則に準ずる。

(2) 全ての試合でマンツーマンコミッショナーを配置する

A 帯同審判同様に各チーム1名担当者を用意する（20歳以上の大人であること）

B 各チームは、チーム内にマンツーマンディフェンス関連資料を配布し、皆で理解を深めておくこと。「マンツーマンディフェンスの基準規則」「マンツーマン推進リーフレット「なぜマンツーマンが必要か？」第3版」「マンツーマンコミッショナーチェック表／報告書」http://www.japanbasketball.jp/players_developmentより

17 ベンチ ベンチは番号の若いチームがT O席に向かって右側とする。

18 ユニフォーム

(1) ユニフォームは、2020年4月1日時点の公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則による。

(2) スポンサー名を入れる場合は、名称や図柄等について未成年が着用するにふさわしいものとし、その可否は事前にSBA U 15カテゴリー部会へ提出し、許可を得ること。

(3) なお、Bユース所属のチームについてはB.LEAGUEのユニフォーム要項に準ずる。

(4) 各チームは濃色・淡色の各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。

(5) その他、身につけるものは競技規則に準ずる。

(6) 原則として組合せ番号が若いチームを淡色（白色）とするが、2回戦以降については、対戦する両チームの話し合いの上、変更しても良い。その際、両チーム淡色は不可とし、濃色の際は同系色以外の着用を認めるものとし、試合日前日までにU 15カテゴリー部会に申し出て許可を得ることとする。

(7) 外国籍選手（JBA基本規程に基づく）の出場はコート上5名のうち1名以内とする。

19 その他

(1) 個人情報の取り扱いについて

A 大会関係者の健康状態の把握来場可否及び必要な連絡のためにのみ利用する

B 個人情報保護法の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提

供することはない。提出書類に記載されたデータ（画像データ含む）は、主催者が大会運営のため大会プログラムや大会公式サイトなどに使用するほか、大会報道を目的として報道機関に提供することがある

- C その他、個人情報および肖像権の取り扱いについては別途定める
- (2) フロアレベルにおいての観戦について
 - A いかなる理由があっても、**フロアレベルで三脚を使用した撮影は認めない**
 - B いかなる理由があっても、**フロアレベルに未就学児の入場は認めない**
- (3) カメラ・ビデオでの撮影について
 - A 会場責任者から許可された場所からのみ、カメラ・ビデオでの撮影は可
 - B 撮影したい方は、原則、2階席またはギャラリーで撮影してください
 - C 2階席またはギャラリーが無い会場においては、会場責任者に相談し、安全上問題ないと条件に許可を得た場合にのみフロアレベルでの撮影可（ただし、安全管理上の理由から三脚の使用は認めない）
 - D **いかなる理由があってもフラッシュの利用は認めない**
 - E **SNS、動画投稿サイトへの投稿を認めない**
- (4) 保険加入
 - A 大会会場への往復移動中ならびに大会期間中に大会会場での負傷に備え、必ず保険へ加入すること（保険に加入していないコーチ・選手は大会に参加できない）
 - B 各チームで加入手続きと確認をしておくこと
- (5) 会場内は、互いに譲り合うとともに荷物の管理をする
- (6) ゴミは、各自・各チームで必ず持ち帰る
- (7) 新型コロナウィルス感染症等によって、レギュレーション、開催期間、順位その他に関して埼玉県バスケットボール協会の判断において変更されることがある。